

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】斜里町バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
34	2009.4.30			北海道	斜里町	13,405	737
構想の要約		家庭から排出される生ごみを堆肥化、可燃ごみを燃料化し、それぞれ利用する。製造された堆肥は、地元農家で利用し、可燃ごみから製造された燃料は、地元ホテルの給湯用ボイラー用燃料として利用する計画。					
構想に盛り込まれた事業		<ul style="list-style-type: none"> ● 堆肥の製造による利活用 ● 石炭代替用燃料の製造による利活用 ● 廃食用油の軽油代替燃料の製造による利活用 					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)	○	野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材			
廃食用油	○	果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材		その他()			
建設発生木材					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など	○				
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化		直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他()		炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他(高温高圧処理)	○

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

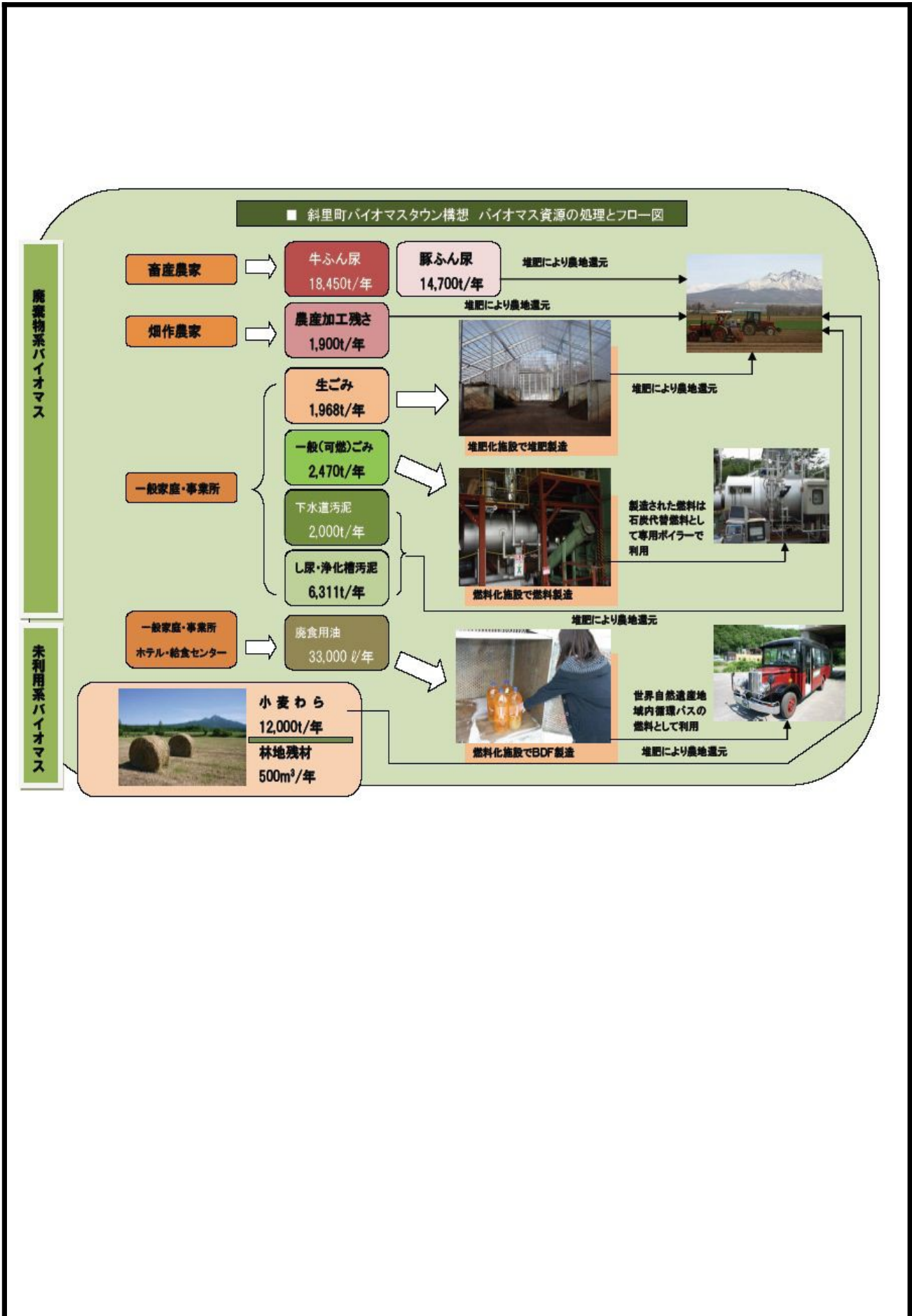
実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	賦存量	炭素換算重量(t)	変換・処理方法	仕向量	炭素換算重量(t)	利用・販売	目標の利用率(%)
(廃棄物系バイオマス)							92.88
牛ふん尿	18,450t/年	1100.91	堆肥化 (乳用牛1,600頭)1,600×10t (肉用牛350頭)350×7t	18,450t/年	1100.91	農地還元	100
豚ふん尿	14,700t/年	877.15	堆肥化(2,100頭)2,100×7t	14,700t/年	877.15	農地還元	
生ごみ	1,968t/年	86.99	堆肥化・燃料化	1,968t/年	86.99	有償で9戸の農家へ販売(1,000円/t)	100
農産加工残さ	1,900t/年	83.98	鋤込み・堆肥化	1,900t/年	83.98	農地還元	100
廃食用油	33,000l/年	23.56	バイオディーゼル燃料化	5,900l/年	4.21	一部の一般家庭より回収し、民間業者がBDFを製造して地元バス会社が買取り、民間バス(1台)で利用。	17.87
下水道汚泥	2,000t/年	192.00	堆肥化	-	-	農地還元(予定)	0
し尿・浄化槽汚泥	3,660kl/年 2,651kl/年	605.86	堆肥化	6,311t/年	605.86	農地還元	100
(未利用系バイオマス)							96.87
小麦わら	12,000t/年	3,436	堆肥化・鋤込み	12,000t/年	3,436	農地還元	100
林地残材	500m3/年	111	林地放置	-	0	-	0

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

	添付別紙(パンフレット等)参照 (事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)
事業の概要	